

団体名	SEMI(札幌英語医療通訳グループ)							
事業名	留学生の医療機関等受診時の通訳及びサポート							
実施期間	平成28年5月1日～平成29年1月31日							
場 所	札幌市内医療機関及び各区保健センター							
参加者数	外国人留学生	その他外国人 (留学生家族)	日本人学生	地域住民 (医療関係者)	スタッフ (通訳者)	大学関係者	来場者等	合計
	220	507		1682	447			2856名

<実施内容>

- ①札幌市に住む留学生及びその家族が、病気やケガで、妊婦健診、出産、乳幼児健診、予防接種、栄養指導等で病院やクリニック、地域の保健センターに行った際に、医師の診察だけではなく受付から会計までの一連の通訳サポートを行った。診療科目は産婦人科、小児科、内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、皮膚科、精神神経科、歯科等。また、札幌市の母子保健訪問指導事業と初妊婦訪問事業として、各区保健センターの保健師・母子保健訪問指導員が家庭訪問する際に留学生宅へ同行し、母子保健訪問指導事業では育児相談や保健指導等を、初妊婦訪問事業では、妊娠・出産・育児に関する不安や悩みの相談の通訳を行った。出産に関連する諸手続きのために保健センターや区役所へ同行したケースもあった。各区保健センターで行う母親教室や両親教室に留学生が参加する場合は、他の参加者の邪魔にならないように簡易通訳機を借り、ウイスピーングによる通訳も行った。
- ②昨年同様クライアントに向けメールやSNS、ホームページを使って市などからの医療関連のお知らせに関する情報を発信しその量も年々増えてきた。
- ③医療機関、関係公的機関の方たちと話し合いの場を設け、留学生が利用しやすくなるような各種医療関係書類の日英併記化を進める働きかけをした。
- ④昨年に引き続き定期的に研修を行い、通訳技術の向上と留学生との交流を図った。

<記録写真>



札幌市の保健師による初産婦訪問をお知らせする
当会ホームページの記事



病院で書類説明を通訳者から受ける留学生夫妻

<参加者からのコメント>

C.S.さん(フランス)

これはすごい支援事業です。病気になって言語が分からなくて、とても不安になり、具合がひどく悪くなったが通訳者のおかげで安心でき、医療関係者の話がすべて理解することができました。ありがとう！

H.M.さん(バングラデシュ)

どうかこの先も外国人留学生や外国籍市民をサポートし続けてください。あなたたち無しで私たちが日本での生活を続けるのは大変だ。